

平成25年度



まちなみウォッチング

このまちなみウォッチングは、良好な景観形成を進めるため、その担い手である市民の皆様へ、景観は市民の共有財産であることを改めて考えていただくきっかけづくりとして行うもので、皆様が自分たちの住むまちを観察し景観資源を知り、親しみを持ってもらうとともに、景観づくりの意識の醸成を図ることを目的としています。

日時

- 1回目 平成25年9月13日(金)
- 2回目 平成25年9月20日(金)
午前9時から午後5時

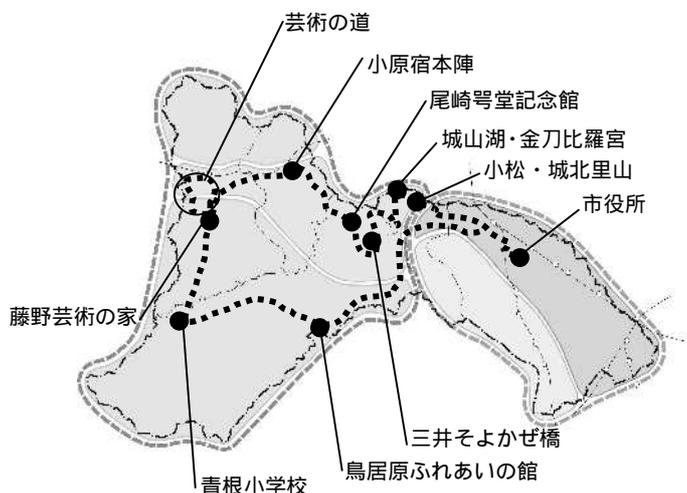
参加者(抽選)

- 1回目 17名(1名欠席)
- 2回目 18名

行程

市内緑区の特徴的な景観を持つ場所をバスで巡った。

市役所(集合) 橋本駅(集合) 小松・城北里山 城山湖・金刀比羅宮 三井そよかぜ橋 尾崎弔堂記念館 小原宿本陣 藤野芸術の家 芸術の道 青根小学校・諏訪神社の大杉 鳥居原ふれあいの館 橋本駅(解散) 市役所(解散)



編集・発行 相模原市 街づくり支援課

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15

電話：042-769-9252

E-mail : machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp

小松・城北里山(緑区川尻)車窓から

北西南の三方を山に囲まれた市内でも有数の規模の谷戸からなる地域で、地域の方々で保全・活用するとともに、地元小学校と連携して年間を通じて里山体験学習も実施している。

今回は、バスの中から小松地区の里山を眺めた。

城山湖・金刀比羅宮(緑区川尻)



標高280mにある緑に囲まれる静かな湖で、遠方には市街地が見え高台の湖ならではの景観でした。

城山湖(本沢ダム)近くの金刀比羅宮は、標高320mあり、ここからの眺望は、市内東部をはじめ東京、横浜方面などが一望できる絶景ポイントで



すが、あいにく霞がかったので遠くまで眺めることはできませんでした。

三井そよかぜ橋(緑区三井・太井)車窓から

城山ダム(津久井湖)の建設に伴い昭和39年に架けられた三井大橋に併設し歩行者・自転車用として平成24年に架けられた吊り橋形式



の歩道橋は、三井大橋と共に津久井湖と周辺緑地のアクセントとなっていた。

今回は、三井大橋をバスで渡りながら車窓より見学した。

尾崎弔堂記念館（緑区又野）



この地に生まれ、「憲政の神」といわれた尾崎弔堂。この偉大な郷土のリーダーを多くの人に知ってもらうた

め、生誕地である尾崎家代々の屋敷に建設された。

学芸員の解説と案内で館を見学した。



参加者の意見・感想

- ・すっきりしていて見やすかった。
- ・行ってみたい所でしたので感動しました。
- ・難しかった。
- ・この市にこんな偉い人がいらしたとは知らなかった。
- ・資料を整理して見せるようにした方がよい。

小原宿本陣（緑区小原）

甲州街道沿いに形成された集落と歴史を伝えるまちなみ、県下で唯一現存する本陣で、定紋のつ



いた敷居の高い玄関があり、4層のカブト造りの入母屋風の屋根などの特徴を持つ、純日本風の豪壮な建物

で周辺の古民家とともに歴史的なまちなみ景観の形成に重要な役割を果たしている。

管理人からの説明を聴き見学した。

参加者の意見・感想

- ・昔のままで、時代を感じる、手を加えない方がよい。
- ・地域で見せる場所として何ヶ所かコースに入れるとよい。
- ・もっと市民にアピールしたらよいのでは。
- ・相模原にこんな趣のある景勝地がある事に誇りを感じました。

県立藤野芸術の家（緑区牧野）



自然の中での「ふれあい、体験、創造」をテーマにした芸術体験施設です。「土の工房」「木の工房」

「自由工房」の他、音楽スタジオやホールもあり、アートな雰囲気のある宿泊施設でした。

施設の方の案内でホール、スタジオ、工房などを見学した。

参加者の意見・感想

- ・子供も大人も楽しめていい所です。バスの便（本数）がもう少し良いといいのですが。
- ・県立施設ではあるが素晴らしい。市内にあるので市民にPRを支援してもよいのではないのでしょうか。
- ・あまりに贅沢、あまりに知られてない所。素晴らしいだけに非常にもったいないと思いました。
- ・楽しそうな建築で使用してみたい。
- ・泊まって工芸作品を作りたいと思った。
- ・企画等知らないことが多くもったいない。もっと施設の内容を市民にアピールした方がよい。

芸術の道（緑区名倉）車窓から

自然豊かな里山の道を散策すると立派な美術館



にも負けない不思議な造形物が現れるのが、この芸術の道です。自然環境に魅せられて移住した芸術家が中



心となり、昭和の終わりから平成の初めにかけて旧藤野町が「ふるさと芸術村構想」の中で始めたものです。

今回は、車窓から芸術作品を見つけパンフレットで確認しながら見学した。



青根小学校・諏訪神社の大杉（緑区青根）

県内に残る数少ない現役木造校舎。昭和16年に火災で全焼後、校地に製材所を設け、地域住民総出



で校舎再建に力を尽くし、昭和18年に完成したのがこの木造校舎です。赤い屋根と黄土色の板壁、

飾り気のない校舎は力強さも感じさせ、地域の子供たちを見守っている感じでした。

諏訪神社の大杉は、樹高45メートル、幹周り9.5メートル、樹齢は推定700年で、御神木として崇められてきた。小学校のなつかしさと大杉の力強さを感じた。

鳥居原ふれあいの館（緑区鳥屋）

宮ヶ瀬湖の北岸に位置し、湖の眺望が一番美しいと評判のところ。

宮ヶ瀬湖に架かる虹の大橋と山々。

写真の虹の大橋の奥に見える一番高い山が神奈川県



最高峰蛭ヶ岳でしょうか？（相模原市と山北町の境）

今回は、鳥居原エリアに立ち寄ったが、他に湖畔エリア、



ダムサイトエリア、ハイキングエリアなどが整備されています。

台風の後で湖の水は、濁っていたが

天候に恵まれた一日の最後の見学地では、眺望を楽しむ方やお土産を買う方など皆くつろいだ時間でした。



参加者の意見・感想

- ・宮ヶ瀬湖を見下ろせる景色は抜群。
- ・もっと市民に知らせてアピールしたらよいのでは。
- ・宮ヶ瀬湖を近くに見ながらゆっくりできる所だと思った。
- ・山なみ、宮ヶ瀬湖と眺望が最高でした。
- ・広々、清々しくよかった。
- ・もっと地場産品を開発した方が良いと思う。
- ・もっとインパクトのあるものに（商品を含めて）道の駅と同じである。

景観資源について（アンケートの中から）

今回の参加者にアンケート調査を行いました。

「相模原市の良好な景観としてイメージするものは」と伺ったところ、山並みの自然風景 湖などの水辺風景 木もれびの森を中心とした市街地の緑 農地や里山などの田園風景が上位を占めていた。また、「相模原市で景観を阻害しているものは」と伺ったところ、街中にある電柱や電線 屋外にあるけばけばしい広告物 高圧電線など高さがある鉄塔が上位を占めていた。

事務局より

今回のまちなみウォッチングは、緑区の自然的景観や歴史・文化的景観等を見学しました。参加者の方からは、「相模原市の広さ」・「緑深い山々の豊かな自然環境」など、市内で初めて見る景色に感動していただけたようです。今回のアンケートは、次年度以降の開催に反映させるとともに、より良い景観行政を進める上での貴重な資料とさせていただきます。